

自然の森や 弘法さんに育まれた 「まち」をめぐるコース

標準コース
距離
4.1km

本件に関するお問い合わせは、
豊田市役所高橋支所地域振興担当へ
(0565-80-0077)

【コース概要】

東に自然観察の森、西に「市木の弘法さん」、南に加茂川で囲まれ、昭和40年代から住宅開発・区画整理事業が進み、高橋地区最大の住宅地になったこの地域には、新旧住民のコミュニティがしっかり根づいています。その温かい雰囲気を感じながらウオーキングを楽しんで下さい。



→ 標準コース
→ 寄り道コース
→ オプションコース

T トイレ
P 駐車場

※マップは
高橋コミュニティセンター、
高橋スポーツクラブ、
高橋交流館にあります



オプションコースの
市木川周遊コース、
加茂川周遊コースも
楽しめます！

オプションコース
加茂川
周遊コース

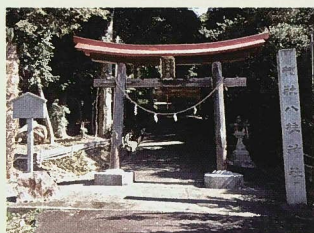
P **加茂川公園**
コース案内看板

高橋
コミュニティ
センター

渋谷町2

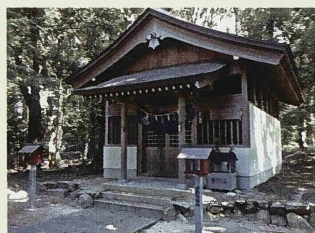
0m 200m

市木・美和・岩滝・京ヶ峰・上野地区の お立ち寄りポイントをご紹介します



① 八柱神社

「古事記」の神話では天照大神が須佐男命の剣を折って女神が3人生まれ、須佐男命が天照大神の勾玉を噛み砕いて男神が5人生まれたとされている。八柱神社には、この八柱の神が祀られており、地元の方神として、毎年10月に祭礼が行われている。



② 香良須神社

八柱神社境内にある末社の一つ。祭神は、天照大神の妹姫である「稚日女命」。矢作川の川船の安全を祈願する神、また祭神が織姫ということから紡績の神、特に女性の守り神として崇められた。古くから戦前まで近在からの信者が絶えず、加茂蚕糸の女工さんなど多くの女性の参詣で賑わっていた。



③ ⑥ ⑨ 都市公園

③桑原公園、⑥谷下公園、⑨かけした公園の3つの公園は、市木町の区画整理事業により造成された都市公園である。市木町には、「谷下」「欠下」「桑原」などの17の小字があったが、現在残されている小字は8つである。この都市公園の名称は、区画整理事業に伴い地番変更となった旧小字名をとって名づけられている。



④ トンボの湿地 (自然観察の森)

平成2年6月に開設。豊田市の市街地から東約4kmに立地する面積28.8haの鞍ヶ池公園から連なる自然林。森の中にはネイチャーセンター(平成22年6月に改築)を中心として約4kmに及ぶ自然散策路、休憩舎、学習広場等の施設が整えられている。森には池や湿地があり、木々の緑が水面に映え野鳥や昆虫の飛び交う姿が観察でき、多くの市民が観察や探索に訪れている。



⑤ 市木の弘法さん

明治37年に市木村南山のこの一帯(通称 弘法山)に弘法大師と観世音菩薩を合祀した八十八カ所の霊場が安置されている。以前は近隣の人々が村内安全を祈願した伝承の石仏群が安置されていた。市木南土地区画整理事業による開発で石仏を移転せざるを得なくなり、平成5年にこの石仏を集め、祀り直して復元し、安置された。



⑦ 浄泉寺

建立当時は尼寺。当時は、常泉寺と称して古瀬間の竜田院4世庵英琢が開山。その後、1560年に川合家初代川合八郎右衛門が私有地と私財を投入し現在の場所に移設。曹洞宗本山よりその生前の功績を称え、法名「古嶽浄泉庵主」を賜った。川合八郎右衛門の法名から常泉寺を浄泉寺と改名した。



⑧ 市木辻堂(市指定文化財)

間口2間半、奥行2間の茅葺き寄棟造りの素朴なお堂。境内の北端にある文化7年の記録の常夜灯と同じ頃に建てられたと思われる。別名「四ツ見堂」とも呼ばれ、かつての足助街道と古瀬間街道の十字路近くに位置し、旅人の休息所、村人のくつろぎの場であったとされる。正面には観世音菩薩が祀られている。



⑩ 六部塚古墳

正確な時期は不明だが、7世紀頃に築造されたと思われる直径10m程の円墳。未調査のため古墳の性格等詳細は定かではないが、石室を持つ横穴式古墳で、市木辺りの集落の開墾に力を注いだ人物の墓と推定されている。

